

## 小児脳神経外科

### 1. スタッフ

科長（学内教授） 五味 玲  
シニアレジデント 1名

### 2. 診療科の特徴

平成20年2月1日に小児脳神経外科が開設され、6月1日から五味が科長となった。これまでは脳神経外科の一分野として診療をしてきたものが独立した形である。先天奇形（二分脊椎、水頭症など）、脳腫瘍、脳血管障害（もやもや病など）、外傷、難治性てんかんなど、小児脳神経外科疾患全てをまんべんなく扱っている。

#### ①先天奇形（二分脊椎、水頭症など）

二分脊椎に関する新規事項としては、平成20年7月から二分脊椎外来及び二分脊椎カンファレンスが開始された事である。小児脳神経外科、小児泌尿器科、小児整形外科、小児科などの関連各科医師だけでなく排泄などを専門に扱う看護師やリハビリの療法士なども含めて患者情報を共有するようになり、より充実した診療体制になった。また、患者さんにとっては、たくさんの科の診察が1日で済むことになり、非常に利便性が向上した。

これまで通り、脊髄腫瘍手術は、NICUや産科と協力し出生後早期の修復術を行っており、形成外科と共同で修復法を開発し、良好な術後成績を収めている。潜在性二分脊椎に関しても、二分脊椎カンファレンスで手術適応を検討し係留解除などの積極的な手術治療を行っている。超音波骨切りを用いた低侵襲手術を開発し、水頭症や頭蓋内嚢胞性疾患に関しては、シャント手術の他に、神経内視鏡手術を用いている。画像が非常に鮮明なビデオ軟性内視鏡を用いている。

#### ②脳腫瘍

手術、放射線、化学療法を含めた総合的な治療体制を確立して治療に当たっている。神経膠腫（グリオーマ）、胎児性腫瘍（髄芽腫、ATRT）、頭蓋咽頭腫、胚細胞腫瘍など小児脳腫瘍全般を対象としている。パリエーションにとんだ治療法が可能で、患者一人一人の状況に合わせて使い分けている。

#### ③脳血管障害

もやもや病に関しては、適切な術前診断・治療計画のもと、様々な間接的血管吻合術を中心に治療している。脳血管奇形に対しては、脳血管内治療部による血管内治療、放射線治療部による定位放射線治療と当科での外科手術を症例により選択し、合併症なく治療効果が上がるように努めている。

#### ④てんかん外科

難治性てんかんに対する焦点切除術を中心とした外科手術を、本館脳神経外科病棟と協力のもと、十分な治療適応の検討のもとに行っている。

#### 専門医

日本脳神経外科学会専門医	五味 玲
日本神経内視鏡学会技術認定医	五味 玲
日本外科学会認定医	五味 玲
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医	五味 玲

### 3. 診療実績

1) 外来患者数	791人
新来患者数	57人
再来患者数	734人
紹介率	38.4%

#### 2) 入院患者数

頭部外傷	13名
脳腫瘍	11名
二分脊椎	7名
水頭症	6名
もやもや病	8名
脳動静脈奇形	4名
くも膜嚢胞	2名
その他	11名
合計	62名（実数）

#### 3) 手術症例数

病名	件数	合併症
脳腫瘍	8	0
二分脊椎	8	0
その他の奇形	5	0
もやもや病	8	0
脳動静脈奇形	3	0
水頭症	30	0
外傷	6	0
その他	6	0
合計	74	

#### 4) 化学療法症例・数

神経膠腫	3例
髄芽腫・胎児性腫瘍	5例
胚細胞腫瘍	1例
化学療法マニュアル	
PE :	CDDP + VP16
CARE :	CBDCA + VP16

ICE： IFM + CDDP + VP16  
 TMZ単独  
 CBDCA + VCR  
 CBDCA + VCR + VP16

#### 5) 放射線療法症例・数

脳腫瘍 5例  
 脳動静脈奇形 2例（定位放射線治療Xナイフ）

#### 6) クリニカルインディケーター

脳幹部神経膠腫 平均生存期間15ヶ月  
 髄芽腫 5年生存率 83%  
 死亡症例 1名  
 脳幹部神経膠腫 剖検なし

#### 7) カンファレンス症例

二分脊椎カンファレンス 第二月曜日（休日の時は第一）その他は脳神経外科と共同のカンファレンスを行っている。

#### 二分脊椎カンファレンス症例

7月14日	小児脳神経外科における二分脊椎の治療について	小児脳神経外科
8月4日	小児泌尿器科の立場での二分脊椎について	小児泌尿器科
9月1日	小児整形外科の立場からの二分脊椎について	小児整形外科
10月6日	腰仙部dimple	小児脳神経外科
11月10日	症例提示	

#### 4. 事業計画・来年の目標

小児脳神経外科疾患（脳腫瘍、二分脊椎やもやもや病など）の啓蒙にあたり、地域連携を強化し、栃木県・北関東の拠点病院としての役割を担えるようにする。手術可能な施設の少ない、てんかん手術などの機能的脳神経外科手術の導入を目標としている。